



友好関係継続の覚書

ドイツ連邦共和国ハノーバー市と日本国広島市は、過去40年にわたり、青少年交流、平和への取組、文化、ビジネス、市民社会協力など、社会の様々な分野において交流を積み重ねてきました。本日の式典は、両市の関係がどれほど強化なものとなったかを示すものです。

世界は激動の中にあります。世界がいくつもの危機的状況に見舞われる中、両市はここから平和への明確なメッセージを発信します。ハノーバー市と広島市は、核兵器廃絶と平和な世界のため、これからも共に歩んでいくことを再確認します。両市は、グローバル・ゼロ（核兵器のない世界）への道として、核兵器禁止条約にコミットします。なぜなら、原爆によって広島・長崎の市民が被ったような苦しみは二度と繰り返されてはならないからです。このような残虐な大量破壊兵器が二度と使用されてはなりません。

現在の課題に鑑みますと、世界政治の舞台における都市による行動の重要性も増してきています。都市は危機の直接的影響を受けるだけでなく、危機への対応においても積極的な役割を担っています。パートナー都市として、両市はその責任を認識し、都市外交という手段を通じて都市の関与を高めることを訴えます。また、G7と並行して行動する都市連合としてのアーバン7の重要性を強調し、その支援を要請します。

この覚書により、両市は、姉妹都市提携を十分に意義あるものとするため、下記のような多くの取組やプロジェクトを継続し、支援していくことを約束します：

- 平和首長会議ネットワークへの協力
- 両市間の青少年交流、姉妹校提携、大学間パートナーシップ
- 長年にわたり姉妹都市交流のために活動している様々な市民団体への支援
- 両市間の経済交流への支援
- 広島茶道文化やユネスコ音楽都市ハノーバーなど文化面での協力
- 原爆犠牲者を追悼する8月6日の「広島の日」（ハノーバー市）、ヒロシマグローブでの桜祭り（ハノーバー市）、「ハノーバーの日」（広島市）など、姉妹都市提携を可視化するイベント

本日、この覚書への署名により、両市は姉妹都市提携40周年を記念します。両市は、前述の社会の様々な分野における交流を引き続き推進するとともに、1983年に締結された姉妹都市提携の精神に則り、両市間の尊敬、信頼、相互理解を深め、平和を促進するため貢献し続けることをここに再確認し、誓いを新たにします。

ドイツ連邦共和国ハノーバー市 2023年11月4日



日本国
広島市長 松井一寛



ドイツ連邦共和国
ハノーバー市長 ベリット・オーナイ